

令和7年6月27日  
北九州市都市ブランド創造局

報道機関各位



視覚に障害がありながらも、世界の頂点に立った全盲のパクライマー・小林幸一郎氏が北九州市に来訪し、若者や市民、行政とともに「インクルーシブな社会」の実現を考える3日間の連続企画『登るチカラ、つなぐ未来』を2025年7月11日（金）～13日（日）に開催します。

本企画では、市長とのトークセッション、映画上映、学生ワークショップ、そしてクライミング体験まで、多様な人々が“ともに語り、ともに登る”機会を通じて、インクルーシブなまちづくりのあり方を模索します。

詳細は別添資料をご参照ください。

ついては、本事業を取材いただき、市内外に発信いただきますようお願いいたします。

記

| 日 時                 | 内 容                                        | 会 場               |
|---------------------|--------------------------------------------|-------------------|
| 7月11日(金)09:50～10:40 | 学校交流                                       | 北九州視覚特別支援学校       |
| 7月11日(金)11:30～11:45 | 副市長面会                                      | 北九州市役所5階<br>第一応接室 |
| 7月11日(金)13:20～14:10 | 学校訪問（講演、意見交換）                              | 北九州市立高等学校         |
| 7月11日(金)15:10～16:40 | 学校訪問（講演、意見交換）                              | 九州医療スポーツ専門学校      |
| 7月12日(土)10:00～12:15 | 市長とのトークセッション&映画上映①<br>トークセッションは10:00～10:30 | 小倉昭和館             |
| 7月12日(土)14:00～17:00 | 映画上映②&学生とのワークショップ<br>ワークショップは15:45～17:00   | 小倉昭和館             |
| 7月13日(日)12:00～16:30 | クライミング体験                                   | OD小倉店             |

取材ご希望の場合は、日時・取材内容等をお問合せ先の担当までお知らせください。  
関係者との調整等により一部規制がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】  
都市ブランド創造局スポーツ振興課  
担 当：大下（課長）、足柄  
TEL：093-582-2411



# 登るチカラ、つなぐ未来

～小林幸一郎さんと描くインクルーシブなまちづくり～



小林幸一郎さん

視覚障害がありながら、数々の挑戦を行い、世界の頂点にも立たれた全盲のクライマー・小林幸一郎さんにお越しいただき、「挑戦」「共生」「多様性」をテーマに、対話、学校訪問(若者へのメッセージ)、映画上映、トークセッション、ワークショップ、クライミング交流を通じて、誰もが自分らしく生きられる“インクルーシブなまちづくり”を考える3日間の事業を開催する。障害の有無を超えて人がつながり、ともに生きる未来を描く事業。

## Profile

1968年生まれ。大学卒業後11年間企業人として勤める。

28歳のとき、「網膜色素変性症」の診断を受ける。

2005年NPO法人「モンキーマジック」を設立、フリークライミングの普及を通じた視覚障害者を初めとした人々の可能性を大きく広げることを目的とした活動を精力的に展開。スクールやイベントを通じて様々な交流を生み出し、視覚障害にとどまらない障害者理解促進やその自立支援の実現を目指す。同時に多様性を認め合うことのできるより成熟した社会の実現を目指す。

2024年～2019年パラクライミング世界選手権4連覇。

## 目的・意義

### ○多様性の理解促進と共生社会の実現

視覚障害者として、世界の頂点に立つ小林さんの姿から、障害のある人の可能性と力強さ、多様性の価値を体感的に学ぶ

### ○若者や市民の「共感」から「行動」へ

映画、体験、交流を通じて、参加者が自分ごととして「インクルーシブなまちづくり」に関心を持ち、一歩踏み出すきっかけとする

### ○インクルーシブなまちの未来像の共創

障害のある人となない人が一緒に楽しみ、語り、挑戦することを通じ、インクルーシブな社会をともに創る

## Event schedule

| 事業内容           | 実施日時               | 実施場所          |
|----------------|--------------------|---------------|
| 学校訪問           | 7/11(金) 9:50～10:40 | 北九州視覚特別支援学校   |
| 副市長面会          | 7/11(金)11:30～11:45 | 北九州市役所5階第一応接室 |
| 学校訪問           | 7/11(金)13:20～14:10 | 北九州市立高等学校     |
| 学校訪問           | 7/11(金)15:10～16:40 | 九州医療スポーツ専門学校  |
| 市長とのトーク&映画上映   | 7/12(土)10:00～12:15 | 小倉昭和館         |
| 映画上映&学生ワークショップ | 7/12(土)14:00～17:00 | 小倉昭和館         |
| クライミング体験       | 7/13(日)12:00～16:30 | OD小倉店         |

## 上映映画



「ライフ・イズ・クライミング」を小倉昭和館にて一般向け上映！(7/13(日)～7/18(金)(7/15(火)の休館日除く))

主催 北九州市大規模国際大会等誘致委員会

共催 NPO法人モンキーマジック、北九モンキー

協力 北九州市障害福祉団体連絡協議会、北九州市視覚障害者福祉協会、  
(特非)北九州市視覚障害者自立推進協会『あいず』、福岡県視覚障害者友好協会北九州支部  
株式会社有菌製作所、小倉昭和館

## パラクライマー・小林幸一郎プロフィール

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000080.000028771.html>

### ・クライマー

### ・NP0 法人モンキーマジック 代表理事

### ・一般社団法人日本パラクライミング協会 共同代表

フリークライミングの普及を通じた視覚障害者を初めとした人々の可能性を大きく広げることを目的とした活動をモンキーマジックを通じ精力的に展開。スクールやイベントを通じて様々な交流を生み出し、視覚障害にとどまらない障害者理解促進やその自立支援の実現を目指す。同時に多様性を認め合うことのできるより成熟した社会の実現を目指す。



### < 経歴 >

1968 年 東京都生まれ。16 歳でフリークライミングと出会う。大学卒業後旅行会社入社、アウトドアメーカーに転職。(合計 11 年間企業人として務める)

1996 年・28 歳 「網膜色素変性症」という目の難病が発覚「将来失明する」という医師からの告知と失意の日々。

2005 年・37 歳 NP0 法人モンキーマジックを設立 (同年、アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ登頂)

2006 年・38 歳 「パラクライミング選手権」視覚障害者男子部門 優勝(ロシア・エカテリンブルグ)

2011 年・43 歳「パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B2 クラス 優勝 (イタリア・アルコ)

### 2014～2019 年 パラクライミング世界選手権 4 連覇 (視覚障害男子 B1 クラス)

2014 年・46 歳 スペイン・ヒフォン大会

2016 年・48 歳 フランス・パリ大会

2018 年・50 歳 オーストリア・インスブルック大会

2019 年・51 歳 フランス・ブリアンソン大会

その他国内外大会優勝経歴多数

2014 年 第 64 回日本スポーツ賞受賞

### < 著書 >

『見えないチカラ ～視覚障害クライマーが見つけた明日への希望～』 アスペクト出版 2011 年

『見えない壁だって、越えられる』 飛鳥新社 2015 年

## 【パラクライミング】小林幸一郎が現役引退を表明（2023 年 3 月 23 日 13 時 10 分）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000080.000028771.html>

世界選手権 4 連覇をはじめ、数々の戦績を残した全盲のアスリート小林幸一郎が、3 月に開催されたパラクライミング日本選手権出場をもって 55 歳で現役選手引退を表明。

「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、障害者クライミングの普及活動を通じて、多様性を認めあえるより成熟したユニバーサルな社会の実現を目的に活動する特定非営利活動法人モンキーマジック（東京都武蔵野市、代表理事：小林幸一郎、以下「NP0 法人モンキーマジック」）の法人代表で、全盲のパラクライマーの小林幸一郎が、3 月 4～5 日に開催されたパラクライミング日本選手権に出場し、2 位の成績をおさめ現役選手引退を表明しました。

小林は 2006 年に、世界で初めてロシアで開催された障害者クライミング国際大会に出場し優勝、2011 年にはイタリアで開催された初めての世界選手権に男子視覚障害 B2 クラス（※）に出場し優勝しました。2014 年からは視力の低下に伴い B1 クラスに変更し、2019 年まで世界選手権 4 連覇の成績を残しました。

国内外でレジェンドと評されることも多いなかこの度 55 歳で現役選手を退くこととし、引退後も 2020 年から共同代表を務める、一般社団法人日本パラクライミング協会にて、2028 年ロサンゼルスパラリンピック追加種目最終選考に残るパラクライミング競技の発展に寄与します。

### ※視覚障害のクラス分け

先天的または後天的に視覚に障がいがあり、日常生活や就労等において不自由を強いられている方を対象とします。クラス分けは光覚や視力・視野によって B1・B2・B3 クラスに分けられ、B1 クラスが視覚障害のなかで最も障害の程度が重いクラスになります。

### <主な国際大会戦績>

- 2006 年 パラクライミングワールドカップ視覚障害男子クラス 1 位（ロシア）
- 2011 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B2 クラス 1 位（イタリア）
- 2012 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B2 クラス 2 位（フランス）
- 2014 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B1 クラス 1 位（スペイン）
- 2016 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B1 クラス 1 位（フランス）
- 2018 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B1 クラス 1 位（オーストリア）
- 2019 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B1 クラス 1 位（フランス）
- 2021 年 パラクライミング世界選手権 視覚障害男子 B1 クラス 5 位（ロシア）
- 2021 年 パラクライミングワールドカップ 視覚障害男子 B1 クラス 1 位（アメリカ）

（世界選手権は 2011 年から隔年開催、ただし 2012 年・2019 年は年度調整のため連続開催。）

今後も 2005 年に自ら立ち上げ、率い続ける NP0 法人モンキーマジックを通じた障害者クライミングの一層の普及に努め、競技スポーツと社会スポーツ、その両面からクライミングを通じたインクルーシブ社会の実現に向けた活動に尽力してまいります。

【小林氏出演映画】

## 『ライフ・イズ・クライミング!』



### 【INTRODUCTION】

視力を失ったクライマー・コバ（小林幸一郎・55歳）と、彼の視力となるサイトガイド・ナオヤ（鈴木直也・47歳）。「右手、1時半、遠め。右、右、右!」、相棒・ナオヤの声を自分の目のように頼り、8の字結びのロープでつながり、命をゆだねて岩を登るクライマー・コバ。やがて彼らはパラクライミング世界選手権で4連覇を成し遂げ、2021年、ユタ州の大地に聳え立つ真っ赤な砂岩“フィッシャー・タワーズ”の尖塔に立つことを目指し、アメリカへと旅に出る。

アメリカ・ユタ州、そこにはいつ崩れてもおかしくないタワーが無数にあり、その中でも極めて不思議な造形をした砂岩が“フィッシャー・タワーズ”。全盲の日本人クライマーで、この岩のクライミングに挑むのは初といわれる。「“フィッシャー・タワーズ”にコバちゃんを立たせたい」という、ナオヤのシンプルかつ真っ直ぐな思いから始まったアメリカの旅。視力を失ったクライマーが相棒の声だけを頼りに、一体どうやって登るのか？不可能とも思える無謀な挑戦にふたりが臨む!

監督：中原想吉 出演：小林幸一郎 鈴木直也

配給：シンカ 公式サイト：<https://synca.jp/lifeisclimbing/>

### 視力を失ったクライマー・コバ（小林幸一郎） 彼の目となる視覚ガイド・ナオヤ（鈴木直也）



出会いは2001年。「右手、1時半、遠め。右、右、右!」。遠くから聞こえる相棒・ナオヤの声を自分の目のように頼り、8の字結びのロープでつながり、命をゆだねて岩を登るクライマー・コバ。世界選手権4連覇を成し遂げたふたりが、次に目指したのは、ユタ州の大地に聳え立つ真っ赤な砂岩フィッシャー・タワーズの尖塔に立つこと。この、とんでもない冒険の旅は果たして、その確かな絆と情熱でどんな奇蹟を生み出すのだろうか？



出会いから20年。  
**10,000キロ**におよぶ冒険の旅へ。

世界を巡る大冒険。世界を駆け回り作り上げられたダイナミックな旅の軌跡。人生を変えた旅人との出会い。そこにあるのは、とびきりポジティブな心と溢れる情熱。そして、ゆるぎないふたりの絆。目の精細な対峙と対峙し、無言のうちに心で繋がれるだろう。

**Amazing**な出会いの連続

メガンを脱したのは、津村や牧原監督作品となる半沢直樹。2018年にTV番組「サ・ノンフィクション」でコバを伝説化した。その後、交流を深め、映画界に誘われる。主役は、MONTY MAHONの「Amari」。コバのクライミングに衝撃を受け、映画をイメージして完成させた映画。主演者、監督、脚本者すべてが盲でない？なぜに引き寄せられるように結びあつて映画化した。